

拉致問題を最優先として 今年中に全被害者を救え！国民大集会



横田滋家族会初代代表 拉致されて40年。まだ、めぐみさんに会えていない

技術移転などを全面的に禁止し、わが国国内の教育においても、そのような国家の政権やリーダーを称賛する各種学校は認可禁止、公的資金での補助金を禁止するよう求めました。お知り合いの皆様にもお声掛けをしていただき、奮ってご参加ください。

今年は横田めぐみさんらが拉致されて40年目、家族会が結成されて20年目となります。15年前に被害者5人が帰国して以来拉致被害者は一人も帰国していません。家族会・救う会は今年2月の合同会議で新たな運動方針を協議し、「**政府に対し、拉致問題を最優先とし今年中に拉致被害者を救出することを強く求める**」ことを決め、総理、大臣等に強く要請しました。

北朝鮮は、昨年2回の核実験の暴挙を行い、さらに20数発のミサイルを発射しました。今年もミサイル発射を続けており、関係国に脅威を与え、国際社会の制裁を取敢て無視する態度に出ています。

家族会・救う会は、北朝鮮に対する国際社会の制裁強化や北朝鮮の外貨不足の状況に鑑み、むしろすべての拉致被害者の帰国に向けての実質的な協議の環境が整いつつあると見ています。しかし、拉致を理由にかけた独自制裁は、国連制裁以上に厳しいものです。私たちはこれを交渉の手段として使ってほしいと要請しました。

金正恩は、実の兄金正男をテロで暗殺しました。北朝鮮が協議に応じないならば、国際テロ組織を支援することを違法とする「国際テロ組織支援禁止法」のような法律を作り、北朝鮮をテロ支援国と指定し、そのような国家への送金や

平成29年4月23日（日）

午後2時～5時 シェーンバッハ・サポー



と き 平成29年4月23日（日）午後2時から5時まで

開 場 午後1時（先着順）

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サポー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL:03-3261-8386

地下鉄永田町駅（有楽町線・半蔵門線・南北線）4番出口徒歩1分

5番出口（都道府県会館前）はエレベーターあり

赤坂見附駅（銀座線・丸ノ内線）が永田町駅に接続

登 壇 安倍晋三総理大臣（要請中）、加藤勝信・拉致問題担当大臣
家族会・救う会役員、拉致議連役員、知事の会代表、地方議連代表、
各党代表、調査会役員と特定失踪者家族

参加費 無料（会場カンパ歓迎）

拉致問題は安倍内閣で解決する



安倍晋三（内閣総理大臣、拉致問題対策本部長）

14年前の今日、平壤で日朝首脳会談が行われ、金正日国防委員長（当時）が公式に拉致を認めました。

首脳会談の後、両首脳が署名した「日朝平壤宣言」では、「日朝間の不幸な過去を清算し、懸案事項を解決し、実りある政治、経済、文化的関係を樹立することが、双方の基本利益に合致するとともに、地域の平和と安定に大きく寄与するものとなる」との認識が共有されています。

しかしながら、北朝鮮は、今日に至っても、なお、国際社会の呼びかけに応じず、本年に入ってから2回の核実験を強行し、21発の弾道ミサイルを発射するという挑発行動を繰り返しています。この北朝鮮の暴挙に対し、国際社会が一致して、断固たる対応をとることが求められております。

拉致問題に至っては、無事祖国への帰還を果たせたのは、北朝鮮に囚われた被害者の内、わずか5名の方と、そのご家族の方々の方に過ぎません。未だ多くの同胞が、北朝鮮に残され、救出を待ち侘び、お年を召されたご家族が愛する肉親との再会を切望しています。

こうした厳然たる事実に向き合う時、私は、拉致問題の解決に当初から取り組んで来た政治家の一人として、また、日朝首脳会談に官房副長官として同席した者として、痛恨の極みであります。

我が国は、日朝平壤宣言の精神を一貫して堅持しています。北朝鮮には、拉致、核、ミサイルといった諸懸案の解決に誠実に取り組むことを改めて強く求めます。

拉致問題は安倍内閣の最重要課題です。拉致問題の解決なくして日朝関係の改善はありません。そして、全ての拉致被害者の帰国や真相究明等がなされない限り、拉致問題が解決したとは決して言えないことを、改めて強調したいと思います。『拉致問題は安倍内閣で解決する』との立場にいささかの変わりもありません。

北朝鮮の指導部には、日朝平壤宣言の精神に今一度立ち返り、これ以上いたずらに時間を費やすことは、歴史的責務の放棄であり、何ら利益とならないばかりか、日朝関係に拭い難い禍根を残してしまうことに思いを致し、対話を通じ、拉致問題の早期解決を実現するよう強く求めてまいります。

被害者の方々のご家族の皆様が抱き合う日が訪れるまで、私の使命は終わりません。我々は、常に、拉致被害者、そしてご家族の皆様と、共にあります。

明日から私も国連総会出席のためにニューヨークに参りますが、国連の場においても拉致問題の解決の必要性をしっかりと訴えていながら、国際社会の連携を強めていきたい、こう考えている次第でございます。

大切なことは、国民の声を一つにまとめながら、北朝鮮に「拉致問題を解決せよ」、「日本人を日本に戻せ」との声を強くしていくことではないか、このように思う次第でございます。私もその先頭に立って戦い抜いていく決意でございます。

一日も早い拉致問題の解決に向けて、全力を尽くしていくことをお誓い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

以上は、昨年9月17日に開催された国民大集会における安倍総理の挨拶です（一部略）。

4/23 国民大集会

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚繁雄）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 平沼赳夫）
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 上田清司）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905
電話03-3946-5780 F A X 03-3946-5784 担当=平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」/ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒタリウウウウ）

安倍首相に全員救出実現を
求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 安倍晋三殿
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用